

第324回 番組審議会

1. 日 時 令和5年 9月 12日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 8名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
山中 貞一 (副委員長)
— 50音順 —
石田 征広
岸 真英
菅原 正二
平野 順子
八木橋 伸之
渡邊 佳隆

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
高嶋 昇 (常務取締役)
君澤 温 (常務取締役総務局長)
櫻 克宏 (取締役報道局長)
近谷 利政 (取締役コンテンツ推進局長)
工藤 哲人 (岩手めんこいテレビ番組制作部 副部長)

○ 事務局

岩淵 博美

4. 議題 「ふるさとのなまりなつかし
～盛岡文士劇 二度目の東京公演に挑む～」
放送日時：令和5年7月15日（土）
14：00～14：55

5. 議事概要

今回は、7月15日に放送した特別番組『ふるさとのなまりなつかし～盛岡文士劇 二度目の東京公演に挑む～』について審議しました。

【岩手めんこいテレビ番組制作部 工藤からの説明】

2016年以来、7年ぶりに行われた盛岡文士劇東京公演の様子をドキュメンタリー番組として取材し、関わっている出演者やスタッフの熱意を知ってほしいと思い、番組を企画した旨を説明しました。

【委員からの意見】

委員からは「本物の金田一京助と石川啄木の子孫のやりとりがおもしろかった」「観客のみなさんが、なまりがなつかしかったと話していてよかった」「石川啄木の生き方の説明と舞台上の演技との交差がうまく行っていてわかりやすかった。」「出演している文士たちががんばっている姿が新鮮で、さらに一生懸命さが伝わってきた」「長く続いている文士劇の価値を強く感じられる番組だった」といった意見が出ました。

一方で、「練習風景や苦労話をもっと放映してほしかった」「時代物がメインの番組だったが、現代物の内容も、もう少し紹介してほしかった」という意見もありました。